

1 単元 春の町ではっけん

2 目標

季節の違いを考えながら町を探検したり、町で見付けたことや気付いたことを分かりやすく工夫して伝え合ったりすることができる。

3 情報の交流を行う場面と期待される効果

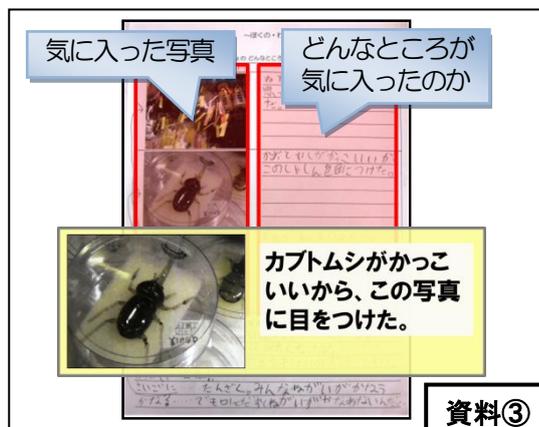
町探検で見付けたものの写真を、比較しながら座標軸の上に置いていく活動をする中で、情報の交流を行い、集めた情報のよさに気付くことができる。縦軸に「おもしろさ」、横軸に「季節感」という視点を書き込むことで、視点を明確にして、話し合うことができる。

4 実践の様子

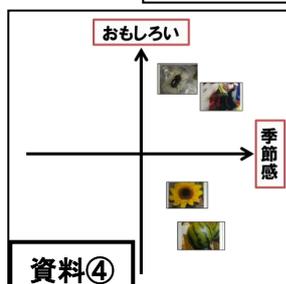
町探検に出掛け、季節を感じるものやおもしろいものを見付けさせた。そして、見付けたものをデジタルカメラを使って撮影させた。【資料①】気に入ったところをアップで撮影するなど、情報を焦点化して伝えようとする姿が見られた。【資料②】子どもたちは、日頃から親しみをもっているものや偶然見付けたものなどを撮りながら、生き生きと活動することができた。



集めた情報を整理する活動では、たくさんの写真の中から自分の気に入った写真を選ばせ、どんなところが気に入ったのか、選んだ理由をワークシートにまとめさせた。このとき、A児は「かっこいいから」という理由でカブトムシの写真を選んでいった。【資料③】



座標軸は、情報を視覚的に分かりやすく比較できた。また、縦軸・横軸を定義することで、比較する視点を分かりやすく示すことができた。【資料④】今回は、「おもしろさ」「季節感」の二つの視点に絞り、活発な話し合いができた。【資料⑤】



話し合いの後、A児は「カブトムシは、一年中お店で売っているものだと思っていたけど、季節があることが分かった」と感想を書いていた。カブトムシの写真を「かっこいいから」という理由で選んでいたA児にとって、今まで気付いていなかったよさに目を向けることができた。

5 成果と課題

- 集めた情報を座標軸を活用して比較することによって、視点を明確にして話し合うことができ、改めて集めた情報のよさに気付くことができた。
- 友だちと意見が合わないときに、うまく理由を話すことができずに困ってしまうグループが出てしまった。